

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 3年 8月 1日

事業所名 総合療育センター にここ通園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> 活動内容の工夫や安全に過ごせるスペースの確保をしている 感染予防対策として、人数の上限や座席の配置の工夫を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より一日の定員40名 室内で整理できる箇所は改善し、広く使用できるようにする等、引き続き環境設定の工夫を継続する
	② 職員配置数は適切である	○		<ul style="list-style-type: none"> 適切である。また看護師やリハビリスタッフも保育活動に参加している 母子分離時は、安全に過ごすことができるようリハビリスタッフや看護師、児童発達支援管理責任者を担任以外として配置している 	<ul style="list-style-type: none"> 基準は満たしているが、担任以外の職員もクラスや個の状態に合わせ補助している
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真、文字など視覚的なものを活用し、活動の内容や一日の流れを視覚的に示している 活動に合わせてパーテーションを使用する等の工夫をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性に合わせた環境整備を継続する
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃や消毒、整理整頓の実施 感染予防対策で常に換気を行っている 各クラス時間を調整し、ホールは密にならないよう配慮している 職員は常時PPE対応し、感染予防に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> 消毒や清掃の継続 子供たちに合わせた安全な環境づくりの実施 毎月の安全点検の継続
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画のカンファレンス、モニタリングを多職種で実施している 業務のマニュアル化 年度毎に見直しを行い、マニュアルを修正 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もPDCAサイクルによる業務改善の努力を行っていく 各業務マニュアルについて全員へ周知
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> 年1回実施し、保護者からの移行を把握し、改善につなげている 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も実施予定。 アンケートの内容から改善点を検討継続
	⑦ 事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見を参考に振り返りを行い、改善を行う アンケート結果は書面、ホームページで公表 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もホームページに掲載する 引き続き保護者控室やホール等に書面にて開示する
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価は平成19年度受審。結果を基に改善すべきところを取り組んでいる 市の監査や実地指導を受け、業務改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や改善点の確認を行い、職員への周知徹底を行う
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		<ul style="list-style-type: none"> センター内での研修や指導科内研修、部署内での勉強会を実施し、スキルアップを図っている。 外部研修は、オンラインでの研修の機会を確保して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する 個々の職員の希望やスキルの向上に合わせ、オンライン研修に計画的に参加していく
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		<ul style="list-style-type: none"> 入園児と療育を開始後の1か月後に保護者からの目標や聞き取りを行う。通園での評価や行動観察を行い、多職種でカンファレンスを実施、児童発達支援管理責任者の指導にて支援計画を作成している 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と具体的な目標を共有できる個別支援計画を作成する

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士による評価結果を利用している	・今後も各職種の評価を参考にしながら継続する ・アセスメントツールへの理解を深める
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・カンファレンスやミーティングにて課題や方針を決め、具体的な支援の内容を設定している ・移行支援、地域支援、家族支援については家庭や子どもの状況に合わせて実施	・保護者への理解を促すために分かりやすい表記をするなどし、工夫しながら行っていく
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・個別支援計画に基づいた月の目標を設定して支援を行い、半年に一度達成状況を確認している	・今後も継続する
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラスごとに関係スタッフと協議しながら行っている	・今後も継続する
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・年間カリキュラムに沿って月案を計画作成 ・子どもの発達や季節に合わせた内容、行事を取り入れている	・今後も季節の行事をとり入れた活動や教材作りの工夫を行っていく ・ICT機器の工夫
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・集団の中で子ども状態を確認し、必要に応じて個別対応を実施	・今後も目標に沿った活動を提供する
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動前に職員間で話し合い、連携を行っている	・今後も継続する
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・職員間で支援の振り返りを行い、子どもや保護者の様子、気になる点等共有 ・保護者からの情報など記録	・今後も各職種からのフィードバックを行いお互いの知識や技術を高めしていく
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援の記録は、職員間の振り返り内容も記録し、情報共有や支援方法の改善に役立てている ・毎月の目標はスモールステップのチェック項目にし記録を行っている	・今後も継続する
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月毎に実施し、支援計画の見直しを行っている	・今後も継続する
関係機関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担任、児童発達管理責任者が参加し、必要に応じて園長、看護師やリハビリスタッフが参加している。	・今後も家族が安心して地域生活を送ることができるよう必要時、連携を行っていく
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて関係機関と情報交換や連携を行っている。	・今後も適宜連携を行い、支援していく
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・必要に応じて電話連絡などで連携を図っている。	・今後も継続する
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・当センター小児科の受診をすすめ、必要に応じて主治医との情報交換を実施 ・緊急時の対応方法などサポートブックを作成し、対応方法を確認している ・また緊急時の対応については、個に合わせて対応を共有している	・今後も継続する
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・コロナ感染予防のために主に電話で情報交換を行った。また児童発達支援計画書やサポートブックで引継ぎを行っている	・今後も継続する ・感染状況を鑑みながら、必要に応じて担当者会議や見学を実施していく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・年長児クラスについては特別支援学校教諭の見学を受け入れ、情報共有を行っている	・今後も継続する。就学後も保護者から要望があれば移行支援として関係者会議を開催する
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・学術集会や療育研修報告会等を実施 ・施設長会議を実施し、情報共有を行っている	・今後も他機関の情報収集に努め、利用者サービス向上に繋げる
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・例年、クラスによって近隣保育所と年数回交流を行っている。今年度は感染予防対策として中止した	・今後も感染状況に合わせて実施を検討する
	29 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		○	・現在参加していない	・当センター内の他部署が参加している。情報収集に努め、よりよい支援につなげていく
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡ノートや保護者との日々の話の中、定期的な懇談会の中で共通理解できるよう努めている	・今後も継続する
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		・職員が説明とモデルを示し、家庭でも日常的に実践できるように伝えている ・保護者講座の実施	・今後も継続する ・職員の勉強会にてケース検討を行い、内容の充実を図っていく
保護者への説明責任	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・運営規定については、自由に閲覧できるようにしている ・利用者負担等は文書を渡し園長や医事職員が個別に説明を行っている	・今後も継続する
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・懇談時に説明を行い、同意を得ている	・今後も継続する
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・連絡ノート、電話や個別での相談等に対応している	・保護者が相談しやすい環境作りを今後も心掛けていく
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・父母会はないが、場の提供や交流の時間を確保している ・保護者同士が話しをする時間を設定している	・保護者同士の連携がとりやすいような場の設定の工夫を引き続き行っていく ・今後は、定期的なクラス懇談を実施していくことを検討
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・担任、訓練科スタッフと情報共有し、保護者からの相談には適切な対応ができるように心がけている ・入園時、声の箱の設置の案内を行う	・今後も相談しやすい環境づくりや迅速な対応に努めていく
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、園だよりを発行し、行事や季節、健康面、食事などの情報を提供している ・献立表の配布	・今後も継続する
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報にかかわる書類は鍵のかかるキャビネットに保管 ・行動規範チェックリストを使用し、定期的に振り返りを行っている ・個人情報の取り扱いについては入園時に文章で確認している	・今後も継続する
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・視覚的に分かりやすく表示する、分かりやすい言葉で対応するなど、個に合わせた伝え方の工夫や配慮を行っている	・マスク着用のため、難聴の母や子どもへのコミュニケーション支援が課題であり、個別の対応を行っている
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・毎年センター全体であだちまつりを開催している。令和2年度は感染対策のため、施設内のみでの実施となった。	・感染予防対策を含め、状況に合わせて検討していく

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルを策定し、毎月火災訓練を実施している。その他、防犯、風水害、地震訓練も合わせて実施している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続し、保護者への周知を行う 感染予防を踏まえた防犯訓練の方法の検討が必要
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> 月に1回は様々な想定で避難訓練を実施し、毎月、火災の発生場所の想定を変えている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> 入園前の面接やアセスメント表にて担任、看護師が確認 クラスミーティングなどで多職種間で情報共有している 健康面での配慮が必要なお子さんについては、保護者と関係職員でサポートブックを作成している 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	④4 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> 医師の診断書をもとにスタッフ間で確認し対応。 入園前のアセスメント表にて園長、看護師、担任、栄養士が確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続する
	④5 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> 通園内で毎日報告を行い、情報共有を行って、リスクマネジメント委員会にて報告している 議事録の回覧を行い全員で周知に勤めている 	<ul style="list-style-type: none"> センター全体での事例は月毎に回覧し、周知している。通園内の事例については振り返りができるようファイルに保管している
	④6 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> 年に1回、全職員を対象に虐待防止に向けて研修を実施している 定期的に職員の行動規範チェックリストにて自己評価を行い職員間で意見交換を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続していく
	④7 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束についてのマニュアルを作成済 同意書を作成し、保護者から同意を得て記録を行っている カンファレンス毎に確認 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者が同意が得られるよう十分な説明を行っていく 定期的に確認を行っているが記載の検討が必要

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。